

石川県鍼灸師会報 '18.10 第10号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会



写真：「中能登町福祉のつどい」平成30年9月30日（日）

〈 目次 〉

会長挨拶

1. 平成30年度通常総会
 2. (公社)日本鍼灸師会 全国部長会議の報告
 3. 北陸ブロック会議の報告
 4. 総務部の活動
 5. 学術部の研修会
 6. 広報・普及部の活動
 7. 保険部の講習会
 8. 組織青年部の活動
 9. その他の活動
- あとがき

会長挨拶

(公社)石川県鍼灸師会 会長 定池 寿

会員の皆様には、師会活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

平成 30 年度は、通常事業に加え、日本鍼灸師会の事業協力として、日本ジャンボリー珠洲大会の鍼灸ブースに参加いたしました。鍼灸の良さをボーイスカウトの子供たちに伝えることが出来たと思います。また、中能登町「福祉の集い」において、鍼灸体験ブースを久しぶりに行いました。

保険活動として、平成 31 年度から、鍼灸の保険取扱いが受領委任制度に移行されることに伴い、日本鍼灸師会担当理事をお迎えして説明会を行いました。その他随時会員の皆様に説明をして参りました。

保険取扱い会員の皆様が、平成 31 年 1 月よりスムーズに受領委任払い制度に移行できるように手続きを行いました。

下半期は、日鍼大会 in 沖縄、金沢マラソン、療養費適正指導講習会・研修会、学術講習会等の事業が有ります。会員の皆様のご協力をお願いするとともに、参加をお願いいたします。

色々と事業計画を理事会で検討していますが、参加者がほぼ一緒という状態が続いているのは、今後の事業に支障が出てきてもおかしくないと感じています。会員の皆様のご意見をお聞かせいただければ幸いに思います。

平成も終わりに近づき、鍼灸業界も変革が進んでいます。取り残されないよう、新しい情報を出来る限り、会員の皆様にはお知らせするように努力いたします。また、鍼灸新報などで予定されているペーパーレス化ですが、当会でもペーパーレス化を検討しています。すでに山口県鍼灸師会の会報は、メール発信に切り替わっています。来年度の計画として、会員の皆様のご協力の元にメールアドレスを当会に登録して頂きたく存じます。

来年より始まる平成の次の時代へと、会員の皆様と共に進んでゆきたいと思っております。



1. 平成30年度通常総会

場 所：石川県地場産業振興センター 新館5階 第13研修室
日 時：平成30年5月20日（日） 9：30～11：00

<内訳>

会 員 数 : 51名 出 席 者 : 18名 委任状出席者 : 26名
合 計 : 44名

議 長 : 金谷 繁次
議事録作成人 : 中村 智彦 議事録署名人 : 中村 錦右 ・ 村田 淳一

定款第18条に基づき総会は成立した。

- ①開会の辞
- ②会長挨拶
- ③第1号議案（各部からの事業報告）

公益事業1	【学術部】	平成29年度事業報告
公益事業2	【広報・普及部】	平成29年度事業報告
公益事業3	【保険部】	平成29年度事業報告
法人事業	【総務部】	平成29年度事業報告
	【財務共済部】	平成29年度事業報告
会員相互事業	【組織青年部】	平成29年度事業報告



- ④第2号議案

財務共済部	平成29年度決算報告
監 事	会計監査報告



- ⑤第3号議案
 - 平成30年度各部事業計画（案）
 - 平成30年度財務部予算（案）
- ⑥第4号議案
 - 役員改選・選出について
- ⑦第1～第4号議案、総会出席者の賛成多数により承認
- ⑧閉会の辞

2. (公社) 日本鍼灸師会 全国部長会議の報告

学術部、広報・普及部、保険部、組織・共済部、青年部

<学術部> 中村 智彦

日 時：平成30年7月8日(日) 13:00~16:00

会 場：日本鍼灸専門学校 花田学園(301・302)

議題

1. 日鍼会平成30年度事業計画と新規事業
日鍼会通常総会の資料より学術に関して説明があった。
内閣府より認定資格としてスポーツ鍼灸トレーナーをオリパラまでに5,600人欲しいと指示があった。これについて団体を拡げて、全日学と協調していく。専門領域研修の中で行っていく。
2. 日鍼会第67期学術講習会の公募結果 研修内容と開催師会
第67期は兵庫・北海道・大阪で行う。
3. 研修事業・学術部長アンケート集計報告、各師会の平成30年度研修事業計画
研修事業を黒字化して魅力ある講習内容とすることで会員を増やすという事が大きく話し合われた。
4. 第14回日鍼会全国大会沖縄大会、第15回全国大会予定
5. 第9回臨床鍼灸スポーツフォーラム in 埼玉のご案内、第10回開催予定
6. 第2回 医療連携研修講座の募集要項と師会長推薦のお願い
7. (公財) 東洋療法試験財団の生涯研修、日鍼会専門領域研修実施の推奨
8. 質問・要望書への回答
9. 関係団体の研修事業について
10. その他、学術・研修に関する事

<広報・普及部> 富田 あゆみ

日 時：平成30年7月8日(日) 11:00~16:00

会 場：日本鍼灸理療専門学校(渋谷インフォスター)

参加者：34名

議 事

1. 全国各師会及び日本鍼灸師会の広報・普及活動の現状

2. 広報・普及活動の課題への対策
3. 広報・普及活動の今後の展開

会議の進行は 業務執行理事 一見 隆彦先生

*議 事1

平成29年度事業実施報告と平成30年度事業実施計画を確認

*議 事2

平成29年度の各師会、「普及」、「IT」、「会報誌」関連について、関連アンケート調査資料を基に、活動の課題と今後の対策についての意見が出された。

*議 事3

平成30年度の各師会、日鍼会の「普及」、「IT」、「会報誌」関連の各事業計画から、今後の活動の展開について意見と要望が出された。

<保険部> 定池 寿

日 時：平成30年7月8日(日) 11:00~16:00

場 所：花田学園 303・304号室

参 加 者：日本鍼灸師会

業務執行理事 中村 聡・松浦 正人

理事 健保委員長 要 信義

健 保 委 員 小林 潤一郎・浪岡 貞則・片居木 茂行・

平野 健一

地域ケア推進委員 吉村 春生・近 千明・吉田 和彦・上條 弘明・

日野 智之

県師会 参加者 49名

- 議 事
- 1.機能訓練指導員について
 - 2.受領委任の制度の理解と届出について
 - 3.アンケート報告
 - 4.質疑応答

1. 機能訓練指導員について

松浦業務執行理事が機能訓練指導員について詳細に説明が行われ、今後、鍼灸師が活躍して行けることを説明した。

2. 受領委任の制度の理解と届出について

はじめは、要健保委員長が受領委任制度の経緯と届出について説明が有った。

特に保発0612第2号について詳細に説明を行った。

次に健保委員から、受領委任制度の注意点、留意事項等説明があった。保医発 0620 第 1 号、保発 6012 第 3 号、第 4 号について詳細に説明された。

3. アンケート報告

小林委員からアンケート結果について資料通り説明された。

4. 質疑応答

質疑は、各報告・説明後に行ったが、受領委任制度についての質問が多く、時間が足りないほどでした。

平成 30 年度全国保険部長会議は、受領委任制度が始まる中の会議で、時間が無い中有意義な会議であったと思います。

石川県鍼灸師会としても、スムーズに受領委任制度に移行すべく、日本鍼灸師会との連絡を密に行きます。

8 月 12 日に中村 聡業務執行理事を迎えて、受領委任制度の届け出についての説明が開催することを決定し、部長会議時に調整を行いました。

<組織・共済部> 上野 誠一郎

日 時：平成 30 年 7 月 8 日（日） 13:00～16:00

場 所：日本鍼灸理療専門学校（花田学園）

参 加 県：北海道・青森・茨城・栃木・群馬（2 名）・埼玉・千葉・東京・神奈川・石川・山梨・長野・愛知・三重・京都・大阪・奈良・広島（2 名）・愛媛・福岡

○各県参加者の自己紹介のあと議題に入る

議題 1 報告事項

- 1) 各師会の平成 29 年度事業報告・平成 30 年度事業計画
- 2) 日鍼会から各師会へのアンケートの回答
- 3) 各師会から日鍼会への質問・提案・要望への回答
- 4) 新規所得補償保険および各種団体保険の導入について、代理店の説明

議題 2 組織拡充対策について

- 1) 日鍼会の新会員制度と総合賠償保険改訂について担当業務執行理事より説明
- 2) グループワーク「なぜ、日鍼会は必要なのか？」
石川・北海道・栃木・東京でディスカッションし、意見を集約して発表
・療養費等各種制度に関して、省庁との繋がりに日鍼会の政治力が必要
・ある程度大きな学術・研修事業にも組織力が必要
・行政・社会に対しての業団としての信用度・安心感がある
などの意見が出ました

<青年部> 大内 康弘

日 時：平成 30 年 7 月 8 日（日） 13:00～16:00

場 所：日本鍼灸理療専門学校 花田学園

参 加 県：北海道・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・富山・石川・
福井・山梨・長野・静岡・三重・京都・兵庫・奈良・鳥取・岡山・広島・山口・
香川・愛媛・高知・鹿児島

議題 報告事項**1 平成 29 年度事業報告 平成 30 年度事業計画で**

スキンタッチ教室を報告した県

鳥取・広島・岡山・徳島・高知

お灸フェスを報告した県

北海道・茨木・栃木・埼玉・東京・福井・山梨・三重・鳥取・愛媛・高知

2 各師会からコラボ事業計画案を提出した県

鳥取・福井・北海道・東京都・埼玉（内容は…お灸フェスを）

3 質問 要望で

埼玉 川畑先生 日鍼会 HP では鍼刺入の際に素手を改め指サック使用に

4 新入会員を得るため

各県の鍼灸学校と要望や問題点を聞きとる必要ある等、意見が出されました。

3. 北陸ブロック会議の報告

日 程：7月15日（日）～16日（月・祝）

会 場：（15日）長岡グランドホテル

（16日）長岡市社会福祉センター

出 席：18名（日鍼会：仲野会長・大口副会長／福井2名、石川2名、富山2名、新潟10名）

報告者：定池 寿

■ 15日： 議案1の日鍼会中央情勢報告（各事業展開、厚労大臣免許保有証とGKカード、ペーパーレス化、外展開、受領委任払い制度、保障プランと賠償責任保険、機能訓練指導員、オリ・パラ事業、学術研修、ブロック編成変更、伝統鍼灸基本法等）。その後質疑応答（会費値上げ、療養費受領委任払い活用、ブロック再編等）が行われた。

議案2の各県師会平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画が報告され、専

門領域研修の協力開催、各厚生局への受領委任払い制度提出書類について質問があり、師会担当者が回答し、また、受領委任払い取扱い運用についての質問に日鍼会から回答した。

- 16日： 議案3の療養費取扱いについて、福井県から変更に伴う対策、富山県から同意書発行拒否問題について情報及び意見・要望が出され、日鍼会から療養費受領委任制度運用開始時の混乱が予想されるが、担当委員会に報告・相談等をお願いしたい旨回答。

議案4の日鍼会ブロック再編について、福井、石川、新潟の各師会から長年の組織活動の経緯、現編成での災害時や学術での協力、各ブロックや各師会の事業について意見及び質問があり、日鍼会は情報交換や事業協力について賛成であり、また、各ブロックの会議資料を送付すると回答があった。

4. 総務部の活動

第1回理事会

日 時：平成30年5月10日（日） 21:00～
場 所：（公社）石鍼会 東力事務所

- 議事1. 平成30年度通常総会について
議事2. その他

第2回理事会

日 時：平成30年7月3日（日） 21:00～
場 所：（公社）石鍼会 東力事務所

- 議事1. 上半期事業について
議事2. その他

第3回理事会

日 時：平成30年9月25日（日） 21:00～
場 所：（公社）石鍼会 東力事務所

- 議事1. 各部の下半期事業について
議事2. その他

5. 学術部の研修会

深谷灸法実践講座

～基本テクニックから治療の実際まで～

場 所：金沢医療技術専門学校
 日 時：平成30年3月25日（日） 10：00～15：00
 講 師：灸法臨床研究会 東京鍼灸研究会講師 福島 哲也先生

深谷灸法実践講座に参加して

矢田野接骨院 永原 克男

まず初めに、定池会長の福島先生についてのプロフィールの説明があり、本題に入る。

私のこれ迄の鍼灸治療臨床の経緯で、深谷灸の要道といわれる「灸法の基本十項」が鍼灸臨床全般に通じる心構えであることを再認識させられました。

効かせる為の選穴、取穴法及び施灸テクニックについては、皆様の長年の臨床経験からすでに自信をもって日々励んでおられることと思っております。

実技では、会員がモデルになって後頸背部の疾患、冷え性、生理痛に対する下肢膀胱経の取穴、花粉症、アレルギー疾患に対して足裏の裏内底穴等わかりやすく教えていただきました。

ありがとうございました。



第 1 回療養費適正合同学術研修会

場 所：志賀町文化ホール 大ホール
日 時：平成 30 年 7 月 29 日（日） 13:30～15:00
演 題：「慢性閉塞性肺疾患（COPD）について」～医療職として知っておくべきこと～
講 師：金沢市民病院 中積 泰人先生

療養費適正合同学術研修会

うえのはり灸院 上野 晃一

平成 30 年 7 月 29 日（日）、羽咋市の志賀町文化ホールにて第 1 回療養費適正合同研修会に併せて学術研修会が開催されました。

演題は「慢性閉塞性肺疾患（COPD）について ～医療職として知っておくべきこと」、講師は金沢市立病院の呼吸器内科にて医師であられる中積泰人先生が務められました。

近年接する機会が増え続けている慢性閉塞性肺疾患（※以降 COPD）ですが、病名や大雑把な概要は知っていてもその詳細について実はよく把握できていない疾病でもありました。

講義内容は慢性咳嗽との鑑別や COPD の概要から始まりその病態や並存症及び合併症による死亡リスク、そして病状の管理手段としての投薬等による治療法や生活習慣の改善などについて行われました。

この研修会によって、一見わかりやすそうでそれ故しっかりと理解していなかった COPD という疾患をあらためて真正面から学ぶことが出来ました。

COPD について分かりやすく順序立てて講義して下さいの中積先生、そしてこの講習会を開催された公益社団法人 石川県鍼灸マッサージ師会ならびに公益社団法人 石川県鍼灸師会に深く感謝いたします。



不妊症に対する鍼灸治療のポイント

場 所：金沢勤労者プラザ 406 研修室
 日 時：平成 30 年 8 月 26 日（日） 9：30～12：30
 講 師：一般社団法人 福島県鍼灸師会 会長
 J I S R A M (日本生殖鍼灸標準化機関) 副会長 三瓶 真一先生

不妊症の鍼灸治療

おおうち接骨針きゅう院 大内 康弘

前日の懇親会で三瓶先生と会話できたためか、講義に自然と耳を傾けることができました。高速道路の移動で疲れているのに、三瓶先生は午前 3 時に起床して講義文を分かりやすくまとめて頂きました。

一時間目はパワーポイントによる講義で妊娠する過程の講義でした。

二時間目の実技では郄門と三陰交、中髎等への施術について説明されたのち、私の症状を診て鍼をして頂きました。

とりわけ中髎から陰部神経に刺激を与える鍼刺入で鼠径部に響いたことが印象に残っています。私の殿部は硬く刺入が困難で難しかったとのことでした。

終始リラックスした雰囲気の中で、鍼だけでなく三瓶先生の一言ひとことも心に響く講習会でした。



6. 広報・普及部の活動

女性が毎日もっと輝くために 自分でできるセルフケア

～セルフケアのために知っておきたい東洋医学のからだ観～

日 時：平成30年4月14日（土）19：30～20：30：

場 所：栗崎町会会館

報告者：富田 あゆみ

栗崎町町会婦人部からの依頼で「女性が毎日もっと輝くために 自分でできるセルフケア」を主題に、副題を「セルフケアのために知っておきたい東洋医学のからだ観」として講演会を行いました。

内容は「穴、ツボ」への刺激が何故健康に効くのかということを知って頂くために

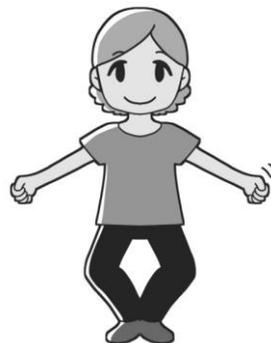
- ① 東洋医学と西洋医学について
- ② 陰陽五行について
- ③ 女性にとって役立つセルフケアの「ツボ」と取穴のしかた

の順で説明しました。

今回の講演会を通して感じたことは、病気とは言えない不調に悩まされていても、それに対しどう対処をしたら良いかがわからない方が多いということでした。

鍼灸は未病を治すものです。それは病気とは言えない心身の不調に対しても効果を発揮するということです。

今後も普及活動を通して多くの方々に鍼灸医療とその効用を知って頂けるように努めていきたいと思っております。



県民公開講座

場 所：石川県社会福祉会館 4階 大ホール
 日 時：平成30年9月9日（日） 13：30～15：00
 講 師：（公社）石川県栄養士会能登支部長 橋本 良子先生
 演 題：健康寿命延伸のために今できること！～何を選んで食べれば良いでしょうか～
 報 告 者：富田 あゆみ

県民公開講座は9月9日（日）石川県社会福祉会館大ホールで開催しました。当日はあいにくの荒天、土砂降りの大雨となりましたが、約30名の来場者がありました。

講師は、（公社）石川県栄養士会から管理栄養士の橋本 良子先生が務められました。

健康寿命を延ばすために必要な栄養と生活習慣について講演をされました。

高齢期には健康寿命の柱として

- ① 栄養管理（肉、魚や卵、緑黄色野菜（ファイトケミカル＝植物栄養素）をしっかりと食べて身体の機能を維持すること）
- ② 運動（足腰をしっかりとする今の筋力を維持すること）
- ③ 積極的な社会参加（自分のできることを見つけて行う）

これら3つの柱の連係が大切と説かれました。

上記の健康寿命の3つの柱の連係維持には医療面での関りも必要ですから、今後の高齢社会では多職種連携がますます重要になってくると思われました。

報 告 者：松田 朗

秋雨前線の影響で大雨の降りしきる中でしたが、今年も県民公開講座を開催いたしました。

健康に長生きするために何をどのようにして食べたら良いのかを、非常に分かりやすく講義して下さいました。

食事を30回ずつ噛むと、唾液と食物が混ざり団子状になり、誤嚥性肺炎を防ぐことができるというお話など、年配者に多いトラブルの回避の仕方も紹介なさって下さいました。



中能登町「福祉のつどい」

場 所：中能登町 ラピア鹿島

日 時：平成30年9月9日（日） 9：00～14：00

報 告 者：松田 朗

台風24号がやって来る恐れがあるとのことで、終了時間が1時間半ほど早まりましたが、石鍼会ブースには60名の来場者がありました。「ツボ」講座を行ったり、最近流行であります「美容鍼」に興味を持っておられる女性も居られた為、美容鍼も施しました。



(公社) 石川県鍼灸師会 パンフレット作成

この度、広報・普及部で(公社)石川県鍼灸師会のパンフレットを作成しました。サイズはB6サイズ(B52つ折り)です。

当会の紹介を中心に掲載しました。今後、一般の方や、企業説明会、他団体への名刺代わり等に役立ててゆく予定です。

はり師・きゅう師は国家試験
 誰が国では鍼灸施術をおこなうには、はり師・きゅう師の資格が必要です

高等学校卒業後、鍼灸専門学校・鍼灸大学・鍼灸短期大学等の教育機関で各種の医学ならびに技術の修学を一定期間受け卒業試験に合格した後、さらに国家試験に合格しなければ資格が取得出来ません。その後も各種の学芸、研究法、講習会などで卒業教育に励まなければなりません。そのため、ある程度の人望はありますが学問、技術とも一定の水準にあり、安心して鍼灸の施術をお受け下さい。

公益社団法人 石川県鍼灸師会
 〒921-8016
 石川県金沢市東力町二177
 STビル203号
 TEL 076-259-0750

ホームページアドレス
<http://ishikawahankyu.or.jp/>

はり灸きゅう
 公益社団法人 石川県鍼灸師会

表紙・裏側です

石川県鍼灸師会の成り立ち・活動
 本会は、鍼灸の専門団体として昭和56年10月に創立し、翌57年4月1日、「社団法人 石川県針灸師会」の認可を戴きました。そして、平成26年4月1日、「公益社団法人 石川県鍼灸師会」へ移行しました。

鍼灸の専門団体として、複雑な医学社会のニーズに応えるべく、鍼灸医学と鍼灸技術の習得に加え、鍼灸師の資質の向上に努めると共に、鍼灸施設を主とした活動と普及を通じ、国民の健康維持・増進と公衆衛生の向上に専与することを目的に活動しております。

鍼灸師全国大会の様子 子育て支援メッセの様子
 鍼灸師全国大会の様子 トライアスロン選手のカップ

はり・きゅうの歴史
 鍼灸は、一般に「はり・きゅう」または「しんきゅう」と呼ばれています。東洋医学鍼灸は漢の医学の一分野として中国に起源をもつ我が国の伝統的医療であります。鍼灸は金匱の綱目(針灸)に刺入し、あるいは灸(もぐさ)を燃焼させて鍼灸(ツボ)に刺激を加え病気を治そうとする治療です。鍼灸医学は、日本には在り世の初め奈良時代に仏教の伝来より11年遅く、また鎌倉期より先に渡来したと云われています。

最近では、公的医学研究科・医科大学・鍼灸大学や鍼灸短期大学・医療機関等で科学的な各種の実験、研究が盛んになりつつ鍼灸医学の効果が証明されてきたので、日本をはじめとして米国やヨーロッパ各国でも鍼灸が盛んになってきました。

はり・きゅう治療の効果
 ○活動性の回復・向上
 ○抵抗力・免疫力の向上
 ○腰痛・むず痛、その他の疼痛の改善
 ○精神不安・うつ症状の改善
 ○認知症・精神療養の子供と改善 etc...

関連団体
 公益社団法人 日本鍼灸師会：鍼灸専門団体の中央組織
 公益社団法人 日本鍼灸学会：法人格を有する我が国を代表する唯一の鍼灸医学の学術団体

内側です

7. 保険部の講習会

第1回療養費適正合同講習会

場 所：志賀町文化ホール 大ホール
日 時：平成30年7月29日（日） 15：10～16：30



療養費適正指導講習会

場 所：石川県地場産業振興センター 本館 第6研修室
日 時：平成30年8月12日（日） 13：00～15：00
講 師：（公社）日本鍼灸師会 業務執行理事 中村 聡先生
報 告 者：松田 朗

平成31年1月から鍼灸の保険取扱いが受領委任制度に移行されることに伴い、（公社）日本鍼灸師会 業務執行理事の中村 聡先生をお迎えし、療養費適正指導講習会を行いました。



療養費適正指導講習会

場 所：石川県社会福祉会館 4階 大ホール
日 時：平成30年9月9日（日） 9：00～11：00

8. 組織青年部の活動

志賀町 バーベキュー大会

場 所：志賀町 山崎はり・きゅう治療院
日 時：平成30年7月28日（土） 19：00～
報 告 者：松田 朗

今年も山崎先生の御厚意により、バーベキュー大会を開催しました。台風12号が近づいている日で、少し風が強かったのですが、新築の御宅の裏で風を避けながら楽しくお肉などを頂きました。



石鍼会 意見交換会

場 所：金沢市 魚常
日 時：平成30年8月25日（土） 19：00～
報 告 者：松田 朗

翌日の講師であられます三瓶先生を囲んでの意見交換会を開催しました。不妊治療のお話や世間話など、和やかな会となりました。



9. その他の活動

第 1 回医療連携研修講座

場 所：東京衛生学園専門学校 2階 AVホール
日 時：平成30年3月25日(日) 10:00~17:00
報 告 者：松田 朗

3月25日、東京衛生学園専門学校 2階 AVホールに於いて公益社団法人 日本鍼灸師会主催 第1回医療連携研修講座が開かれました。全国から50名程の先生方が来られている様子でした。撮影、録音は行わないようにとのことでした。

まず初めに日本鍼灸師会副会長の大口 俊徳先生から開講の挨拶がありました。これからは介護や災害医療、スポーツの分野に於いても医療との連携をとってゆく必要があり、また世界保健機関(WHO)は国際疾病分類(ICD)の中に伝統医療である鍼灸を追加すると発表した事からも医療との連携が必要であると述べられました。

午前の講座はシンポジウムが行われました。まず、東京オリンピック・パラリンピック委員会担当業務執行理事の安田 政寛先生からは「東京オリパラ委員会による医療連携とは」という演題で講演がありました。選手村での鍼灸師の施術は医師の処方で行われるため医療連携が必要であるとの事でした。

次に地域ケア推進委員会担当業務執行理事の松浦 正人先生からは「鍼灸師と地域包括ケア」という演題で講演がありました。社会も医療も変化している中で、鍼灸師の立ち位置を確認し医療との連携をしてゆくことが大切との事でした。

次に療養費適用推進事業担当業務執行理事の中村 聡先生から講演がありました。日本の社会保障の中に鍼灸も入り込む必要があると述べられていました。

シンポジウムの最後は副会長の大口 俊徳先生から「災害医療での医療連携について」という演題の講演がありました。災害派遣医療チーム(DMAT)のように災害現場で医療との連携を取るに当たって、災害医療の研修会に参加をして理解を深めて頂きたいとの事でした。

午後の講座はまず埼玉医科大学病院 東洋医学科の山口 智先生の講演がありました。主に地域医療との連携について患者主体の医療の中での鍼灸師の役割を述べられました。

次に学術委員長の高田 常雄先生からは「介護予防における医療連携の実際」という演題の講演がありました。高齢社会である日本国の政策が在宅医療に大きくシフトしている昨今、鍼灸師も鍼灸施術は勿論、介護予防運動指導員養成講座などを受講し、さらなる在宅医療のレベルを上げることでニーズも上がり、鍼灸の位置付けも確立できるのではないかととの事でした。

次に小川 卓良先生から依頼状の書き方についての講義がありました。依頼状は患者の為でもあります、それと共に医師との信頼関係の構築に繋がるとの事でした。

最後に医師向けへの鍼灸の良さを伝える為のワークショップが行われました。6名程ずつのグループになり、医師へ鍼灸をアピールする文言を考え発表しました。免疫機能を高める、血流を

高める、自律神経の調整、緊張を緩和するなど沢山の意見がありました。

今回の講習会は医療連携の必要性を考えるものだったと思います。日本は高齢社会にあり、この社会に対する取り組みをどのように行っていくのかを世界も注目しているようですので、まずは私の住む自治体へ是非とも鍼灸というものをアピールしてゆきたいと思います。



日本スカウトジャンボリー in 珠洲

場 所：珠洲市 りふれっしゅ村鉢ヶ崎

日 時：平成30年8月5日（日）～6日（月） <定池、松田>

8日（水）～9日（木） <尾坂、山崎、中村 智彦>

報 告 者：松田 朗

（公社）日本鍼灸師会の取り組みとして、日本スカウトジャンボリー in 珠洲に参加しました。ボーイスカウトの子供たちが色々な体験をし、将来のキャリア形成に繋げてもらう目的で行われているとの事で、日本のみならず、世界各国の子供たち約13,000人が集まりました。

鍼灸ブースでは、子供たちに鍼灸の体験をしてもらったり、景品争奪ジャンケン大会をしたりと、大盛り上がりでした。



あしがき

今年の夏は、記録的な猛暑になりました。

北陸地方でも気温が40℃近い日々が続きましたから、一日中クーラーを消すことなく過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、今年 1 月に漢方薬や鍼灸など日本や中国の伝統医療が世界保健機関（WHO）の総会で認定される方針というニュースが報じられました。

また、来年からは鍼灸の保健取扱いが受領委任制度に移行されることになりました。これらのことは、「日本の鍼灸医療の地位向上」につながってゆくことでしょう。

高齢社会の中、症状の緩和や生活の質を上げたいというニーズが多くあり、今後も増えると考えられています。そこに鍼灸医療が寄与できる可能性は十分にあると思います。

公益社団法人である当会だからこそ、出来ることは何かあるのか？会員の皆様の幅広いご意見をお聞かせください。

今の時代だからこそ、経験豊富な中高年世代の先生方は無論のこと、若い世代の先生方だからこそできるアドバイス、気付くことができる着眼点などがあると思います。

学術部研修会や講習会、普及活動と懇親会等へのご参加とご協力の程よろしくお願い致します。

会報作成にあたり、原稿依頼及び取材に快く応じて下さいました会員の先生方にお礼を申し上げます。

会報に対するご意見、ご感想などございましたら広報部までお寄せ下さい。

今後とも、広報活動に対するご理解とご協力をお願い致します。

編集部長より

発行 公益社団法人 石川県鍼灸師会

会長 定池 寿

〒921-8016 石川県金沢市東力町二 177 STビル 203

TEL 076-259-0750

FAX 076-259-0751

担当 広報普及部

編集部長

編集委員

富田 あゆみ

定池 寿

中村 智彦

大内 康弘

• 金谷 由久

• 上野 晃一

• 松田 朗

